九州地方

名前

問1　宮崎県などの温暖な気候を利用する地域で盛んに行われている、ビニールハウスなどの施設を用いて野菜の成長を早め、通常の収穫期よりも早い時期に出荷する栽培方法を何といいますか。（2023年 富山県公立入試 類似）

1. 抑制栽培
2. 近郊農業
3. 促成栽培
4. 有機農業

問2　那覇市の気候統計における気温と降水量の特徴について、札幌市、松本市、高松市、福岡市と比較した記述として正しいものを選択してください。（2024年 栃木県公立入試 類似）

1. 南西諸島に位置するため、1月の平均気温が札幌市や福岡市を下回る月があり、冬の乾燥が非常に激しい。
2. 梅雨や台風の影響により年間降水量は多い傾向にあるが、海洋の影響を受けるため、気温の年較差は内陸の松本市より小さい。
3. 日本の最南端に位置するため、年平均気温は福岡市よりも高いが、年間の総降水量は瀬戸内の高松市よりも少ない。
4. 1月と7月の月平均気温の差が松本市よりも大きいことが、亜熱帯に近い那覇市の気候の大きな特徴である。

問3　九州地方南部に広がるシラス台地は、火山灰が堆積してできた地形で水はけが良すぎるため、古くから稲作には不向きとされてきました。このような自然環境を背景に、鹿児島県で特に発展した農業の特色として最も適切なものはどれですか。（2019年 山形県公立入試 類似）

1. 広大な土地を利用した乳用牛の飼育と、バターやチーズなどの乳製品の加工
2. 水はけの良さを活かしたサツマイモなどの畑作や、肉用牛・豚などの畜産業
3. 急傾斜地を切り拓いて作られた段々畑での温州みかんやレモンなどの果樹栽培
4. 温暖な気候を利用したビニールハウスによるピーマンやきゅうりの促成栽培

問4　1980年から2000年にかけての九州地方における工業出荷額の内訳の変化について説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2016年 神奈川県公立入試 類似）

1. 加工組立型産業が海外移転により衰退し、再び鉄鋼や化学などの重化学工業が中心となった。
2. 石油化学コンビナートの増設により、化学工業の出荷額が電気機械の出荷額を大きく引き離した。
3. 鉄鋼や化学などの基礎素材型産業の割合が減少し、電気機械などの加工組立型産業の割合が増加した。
4. 食料品などの生活関連型産業が急増し、工業出荷額において電気機械を上回り首位となった。

問5　大分県の自然環境と気候の特徴について述べた文として、最も適切なものはどれか。（2020年 熊本県公立入試 類似）

1. 県の中央部に比較的なだらかな山地が東西にのびており、北部は冬の季節風の影響で降水量が多く、南部は一年を通じて温暖で降水量が少ない。
2. 中央部に険しい山脈が南北に走っているため、東部は瀬戸内海の影響を受けて年間を通じて雨が少なく、西部は夏に降水量が集中する。
3. 全域が典型的な日本海側気候に属しており、冬の季節風が運ぶ湿った空気によって、県内全域で平野部でも大量の積雪が見られる。
4. 県の中央部を東西に横断する山地の影響で、北部は一年中温暖で雨が少なく、南部は冬の季節風が山を越えて吹き下ろすため降雪量が多い。

問6　福岡空港において、訪日外国人の地域別割合で韓国からの利用者が約半数に達するなど、アジア諸国からの利用が特に多い理由として最も適切なものはどれか。（2022年 徳島県公立入試 類似）

1. 欧米諸国との貿易の拠点として、19世紀から大規模な国際空港として整備されたため
2. 空港周辺に広大な農地が広がり、アジア向け農産物の輸出が中心となっているため
3. 東アジアの主要都市との地理的な距離が近く、短時間での移動が可能であるため
4. 首都圏に近接しており、日本国内の全ての空港の中で最も滑走路数が多いため

問7　九州地方南部の鹿児島県から宮崎県にかけて広がる、過去の火山の巨大噴火による噴出物（火山灰など）が厚く積み重なってできた広大な台地を何と呼びますか。（2023年 沖縄県公立入試 類似）

1. 扇状地
2. 干拓地
3. カルデラ
4. シラス台地

問8　九州地方の最南部に位置する県は、食料自給率が190%と非常に高く、日本の食料供給において重要な役割を果たしています。この県で畜産が盛んになった地理的要因と、生産が盛んなものの組み合わせとして適切なものを選びなさい。（2024年 北海道公立入試 類似）

1. 火山灰が堆積したシラス台地が広がり、水はけが良すぎて稲作に適さないため、豚や肉用牛、鶏などの畜産が発展した。
2. 山地が海岸まで迫る複雑な地形を活かして、斜面での段々畑によるみかんの栽培と、リアス海岸での真珠の養殖が発展した。
3. 冬でも温暖な気候を活かし、ビニールハウスを用いた促成栽培によって、高知平野と同様に野菜の出荷が盛んになった。
4. 筑後川下流の広大な平野を活用し、クリークと呼ばれる水路を整備することで、日本有数の米の生産地となった。

問9　九州地方南部において、稲作よりも肉用牛や豚などの畜産業が盛んになった地理的な要因として最も適切なものはどれですか。（2024年 福井県公立入試 類似）

1. 冬の寒さが厳しく、冷害によって米の収穫量が安定しなかったため。
2. 平地がほとんど存在せず、斜面を利用した果樹栽培しか行えなかったため
3. 火山灰が堆積したシラス台地が広がり、水持ちが悪く稲作に適さなかったため。
4. 年間を通して降水量が極端に少なく、大規模なため池を造ることが困難だったため。

問10　沖縄県の産業構造が、他の都道府県と比較して第三次産業の割合が非常に高い理由として、地理的背景を踏まえた説明として最も適切なものはどれですか。（2026年 福岡県公立入試 類似）

1. 内陸部に位置し、海から遠いため、海上輸送に依存しない精密機械工業や高度な情報産業が集中したため。
2. 高緯度で冷涼な気候を活かし、大規模な機械化農業と乳製品の加工販売が一体化しているため。
3. 広大な平野と豊かな水資源を活用した大規模な稲作が行われ、それに関連する製造業が発達したため。
4. 低緯度による温暖な気候やサンゴ礁などの自然資源を活かした観光業が、地域の経済を支える基幹産業となっているため。

問11　九州地方の農業において、有明海に面した筑紫平野の土地利用や特色について説明したものとして、正しいものはどれですか。（2023年 福島県公立入試 類似）

1. 温暖な気候を利用して、ピーマンやきゅうりなどの野菜の促成栽培が盛んに行われている。
2. 平野部が狭いため、山あいの斜面を利用した段々畑での果樹栽培が中心となっている。
3. 広大な干拓地やクリークが整備され、九州地方を代表する稲作地帯となっている。
4. シラス台地と呼ばれる火山灰層が広がっており、水はけの良さを活かした畑作が行われている。

問12　中国の経済成長と沖縄観光の関連について述べた次の文のうち、2010年当時の統計的な事実に基づいた正しい記述はどれですか。（2014年 沖縄県公立入試 類似）

1. 中国のGDPが日本を追い抜き世界第2位となった時期に、沖縄を訪れる中国人観光客は1990年代末の約20倍以上に増加した。
2. 中国の生活水準が低下したため、沖縄を訪れる中国人観光客の数は1990年代から2010年にかけて減少に転じた。
3. 中国がGDPで世界第1位を維持し続けた結果、1990年代から毎年10万人以上の中国人観光客が沖縄を訪れていた。
4. 中国のGDPが世界第3位に低下した時期に、沖縄を訪れる外国人観光客の中で中国人の割合が最も低くなった。

答え合わせ・解説

問1	答え 3 促成栽培	宮崎県や高知県といった冬でも温暖な地域では、その気象条件を活かして他の地域より早く作物を育てる工夫がなされています。ビニールハウスなどを活用することで、本来の旬よりも早い冬から春にかけて出荷することが可能になります。
問2	答え 2 梅雨や台風の影響により年間降水量は多い傾向にあるが、海洋の影響を受けるため、気温の年較差は内陸の松本市より小さい。	那覇市は黒潮（暖流）の影響を受けるため、冬でも温暖で、１年を通した気温の変化が緩やかです。そのため、内陸部特有の気候を持ち気温差が激しい松本市と比較すると、１月と７月の気温差は小さくなります。降水量については、台風の進路にあたることや梅雨の影響で、全国的に見ても多い部類に入ります。福岡市よりも平均気温が低い、あるいは高松市よりも年降水量が少ないといった記述は、実際の統計上の傾向とは異なります。
問3	答え 2 水はけの良さを活かしたサツマイモなどの畑作や、肉用牛・豚などの畜産業	鹿児島県の大半を覆うシラス台地は、水分を保持しにくい性質があるため、水田稲作よりも畑作に適しています。このため、乾燥に強いサツマイモの栽培や、広大な台地を利用した肉用牛・豚・鶏（ブロイラー）などの畜産業が組み合わされ、全国有数の農業地帯となりました。他の選択肢のうち、促成栽培は宮崎平野や高知平野、果樹栽培は愛媛県や和歌山県、大規模な酪農は北海道などで顕著に見られる特色です。
問4	答え 3 鉄鋼や化学などの基礎素材型産業の割合が減少し、電気機械などの加工組立型産業の割合が増加した。	九州地方では、かつて北九州工業地帯を中心に鉄鋼や化学といった「基礎素材型産業」が盛んでしたが、1980年代以降、空港周辺や高速道路沿いにIC（集積回路）などの工場が進出したことで「シリコンアイランド」と呼ばれるようになりました。これにより、電気機械や輸送用機械に代表される、部品を組み立てて製品を作る「加工組立型産業」の割合が大きく上昇し、産業構造の転換が起こりました。
問5	答え 1 県の中央部に比較的なだらかな山地が東西にのびており、北部は冬の季節風の影響で降水量が多く、南部は一年を通じて温暖で降水量が少ない。	大分県の中央部には東西方向になだらかな山地が広がっています。この地形的要因により、冬には北からの湿った季節風が山地にぶつかることで県北部に降水（降雪）をもたらします。一方で、南部はこれらの山地に遮られることや、黒潮などの影響を受ける地理的条件から、年間を通じて温暖で、北部と比較すると冬の降水量は少ない傾向にあります。
問6	答え 3 東アジアの主要都市との地理的な距離が近く、短時間での移動が可能であるため	福岡市は「アジアの玄関口」とも呼ばれるように、韓国のソウルや釜山、中国の上海といった東アジアの主要都市に非常に近い位置にあります。特に韓国とは、東京へ移動するよりも短時間で往来できる場合があり、格安航空会社（LCC）の就航も盛んなことから、アジア圏からの観光客が利用しやすい環境が整っています。この地理的優位性が、特定の国からの高い利用割合に結びついています。
問7	答え 4 シラス台地	鹿児島県周辺には、火山の噴出物である火山灰や軽石などが堆積してできた大規模な台地が存在します。この地形は水はけが非常に良いという特徴があり、かつては水不足に悩まされることもありましたが、現在ではその特性を活かした畑作や畜産が盛んに行われています。
問8	答え 1 火山灰が堆積したシラス台地が広がり、水はけが良すぎて稲作に適さないため、豚や肉用牛、鶏などの畜産が発展した。	鹿児島県などの九州南部には、過去の火山活動による火山灰が降り積もってできた「シラス台地」が広がっています。この大地は非常に水はけが良く、農業用水の確保が困難であったため、古くから水田（稲作）には不向きな土地とされてきました。そのため、水不足に強いさつまいもなどの畑作や、広大な土地を利用した豚、肉用牛、ブロイラー（鶏）などの畜産が盛んになり、現在では日本有数の畜産地帯となっています。
問9	答え 3 火山灰が堆積したシラス台地が広がり、水持ちが悪く稲作に適さなかったため。	南九州には、火山の噴出物による「シラス台地」が広がっています。シラスは水はけが非常に良く、水分を蓄える力（保水力）が低いため、水を張る必要がある稲作には適していませんでした。そのため、広大な土地と温暖な気候を利用して、牛や豚を育てる畜産業や、畑作が発展しました。
問10	答え 4 低緯度による温暖な気候やサンゴ礁などの自然資源を活かした観光業が、地域の経済を支える基幹産業となっているため。	沖縄県は日本列島の南端に位置し、緯度が低いため年間平均気温が高いという地理的特性を持っています。また、周囲を海に囲まれ、美しいサンゴ礁が発達していることから、これらを観光資源としたレジャー・サービス業が発展しました。一方で、島嶼部であるために大規模な工業用地の確保や原材料の輸送コストに課題があり、重化学工業などの第二次産業よりも、自然環境を資源とする第三次産業が中心の構造になっています。
問11	答え 3 広大な干拓地やクリークが整備され、九州地方を代表する稲作地帯となっている。	筑紫平野は有明海沿岸の干拓によって農地を拡大してきた歴史があり、農業用水を確保するためのクリークが網の目のように張り巡らされているのが特徴です。一方、野菜の促成栽培は宮崎平野、シラス台地は九州南部（鹿児島県や宮崎県）の特色であるため、これらと区別する必要があります。
問12	答え 1 中国のGDPが日本を追い抜き世界第2位となった時期に、沖縄を訪れる中国人観光客は1990年代末の約20倍以上に増加した。	2010年は、中国のGDP（国内総生産）が日本を上回り、世界第2位の経済大国となった節目の年です。この時期、沖縄県を訪れた中国人観光客数は、1998年の474人から2010年には10,888人へと急増しており、約12年間で20倍を超える規模に拡大しました。これは、中国の経済成長が近隣地域への観光需要に直結していることを示しています。

九州地方

名前

問1　沖縄県などが含まれる南西諸島の伝統的な家屋には、敷地の周囲に石垣をめぐらせたり、屋根瓦の継ぎ目を白い漆喰（しっくい）で固めたりする工夫が見られます。このような工夫がなされている理由として、地域の自然環境をふまえて説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2020年 和歌山県公立入試 類似）

1. 夏の日差しが非常に強いため、石垣によって日陰を作り、室内の温度上昇を抑えるため
2. 台風の通り道にあたるため、激しい強風によって家屋や屋根瓦が飛ばされるのを防ぐため
3. 火山活動が活発な地域であり、降灰による屋根の崩落や生活への影響を防ぐため
4. 冬に吹きつける冷たい北西の季節風による室温の低下を防ぐため

問2　明治時代に官営の製鉄所が設立されたことで重化学工業が発展した、福岡県北部の地域に関する記述として最も適切なものを次の中から選びなさい。（2022年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 豊かな水資源と広大な土地を活かして、自動車の生産額が全国1位となるなど、日本最大の工業地帯の中核を担っている。
2. 水はけの良い扇状地が広がる地形を活かして、りんごの栽培が盛んに行われており、全国でも有数の生産量を誇っている。
3. 明治時代からの工業技術の集積を活かし、廃棄物を資源として再利用するエコタウン事業やリサイクル産業が盛んに行われている。
4. 標高の高い地域の冷涼な気候を活かし、夏から秋にかけて出荷されるレタスやキャベツなどの高原野菜の生産が盛んである。

問3　筑紫平野において、同一の耕地で一年のうちに米と麦を交互に栽培する「二毛作」を可能にしている背景や目的として、最も適切な説明はどれですか。（2025年 京都府公立入試 類似）

1. 冬でも雪が少なく温暖な気候を活かし、土地を休ませることなく効率的に活用するため。
2. 化学肥料や大規模な農業機械を導入することで、土壌の養分を短期間で回復させるため。
3. 夏場に発生しやすい台風の被害を避けるため、収穫時期を大幅に早める必要があるため。
4. 海外からの輸入農産物に対抗するため、米の生産を休止して小麦の専門農家へ転換するため。

問4　宮崎県では、農業産出額の約3分の2を畜産が占めています。このように宮崎県で肉用牛、豚、鶏などの飼育が盛んになった背景として、土地の性質に触れた説明として最も適切なものを選びなさい。（2024年 茨城県公立入試 類似）

1. 冬でも温暖な気候を利用して、家畜の飼料となる穀物を二毛作で大量に生産できる環境があったため。
2. 平野部が少なく耕地面積が限られているため、狭い土地でも効率よく収益が上がる畜産業に特化した。
3. シラス台地が広がり水持ちが悪く稲作に適さない土地が多いため、広大な土地を活用した畜産が発展した。
4. 大消費地である東京から遠いため、野菜よりも保存や加工がしやすい畜産物の生産に力を入れた。

問5　福岡県の工業は、かつては北九州工業地帯を中心とした鉄鋼業や化学工業などの重化学工業が盛んでしたが、1970年代の石油危機以降、産業構造に大きな変化が見られました。この変化の内容と背景について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2016年 東京都公立入試 類似）

1. 石油危機後の不況をきっかけに、従来の沿岸部における重化学工業から、広い用地が確保しやすい内陸部や県東部を中心とした自動車工業へと主力産業が移行した。
2. 1980年以降、製造業が県外の愛知県や神奈川県へ流出したため、工業地帯を縮小し、九州地方の特産品を活かした農業中心の産業構造へと転換した。
3. 環境問題への対策として沿岸部の工場をすべて閉鎖し、福岡市を中心とした商業と観光業のみに特化する政策をとったことで、工業出荷額は減少傾向にある。
4. 石油危機を契機に北九州工業地帯の鉄鋼業をさらに強化し、海外からの原料輸入に頼らない自給自足の体制を整えることで、製造品出荷額を維持した。

問6　鹿児島県に広く分布するシラス台地において、その自然条件を背景に発展したこの地域の農業の特色として最も適切なものはどれですか。（2015年 兵庫県公立入試 類似）

1. 土地が低く水がたまりやすいため、大規模な排水設備を整えることで、日本有数の米どころとして水田単作地帯となった。
2. 一年を通じて温暖な気候を利用し、平坦な地形を活かして、冬でも雪が降らないことを前提とした稲の二期作が行われている。
3. 地盤が非常に強固で肥沃な土壌であるため、重機を用いた大規模な小麦栽培と、大都市向けの近郊農業が中心となっている。
4. 火山灰が堆積した地層は水持ちが悪いため、稲作よりもサツマイモや茶などの畑作、および肉用牛などの畜産が発展した。

問7　ある県の農業統計において、第1次産業の就業人口割合が高く、農業産出額の上位3品目を肉用牛、豚、ブロイラーが占めている地域があります。この県における農業や土地利用の説明として、最も適切なものはどれですか。（2018年 東京都公立入試 類似）

1. 生乳や乳製品の生産額が全国1位であり、冷涼な気候を活かした酪農が行われている。
2. 耕地面積に占める畑の割合が極めて高く、広大な土地を活用した畜産が非常に盛んである。
3. 米の産出額が最も多く、広大な平野を利用した単作地帯が形成されている。
4. 近郊農業が発達しており、鶏卵や野菜などの生産が産出額の大部分を占めている。

問8　日本の諸地域のうち、強い日差しを避けるための深い軒（のき）や、強風対策として家を囲む石垣、さらに屋根瓦を漆喰（しっくい）で固めるといった、独自の気候条件に適応した伝統的な家屋の工夫が最もよく見られる地域はどこですか。（2023年 神奈川県公立入試 類似）

1. 沖縄県
2. 岐阜県
3. 石川県
4. 北海道

問9　九州地方の大分県では、活発な火山活動の恩恵を受けた観光が盛んです。市内各所から激しく湯煙が立ち上がる景観が「地獄」と呼ばれ観光名所となっている地域において、その高熱の蒸気を直接利用して食材を加熱する伝統的な調理文化を何といいますか。（2022年 沖縄県公立入試 類似）

1. かんだき
2. 地獄蒸し
3. 石焼き
4. 蒸し風呂

問10　火山の噴火による降灰の広がり方が季節によって異なる地域において、8月には火口から北西方向の市街地側に、2月には南東方向の海側に多く灰が降る現象が見られます。この背景にある「季節風」と降灰の関係について、正しい記述を選びなさい。（2020年 群馬県公立入試 類似）

1. 夏は北西からの季節風が吹くため、火山灰が火口の南東側に運ばれやすくなる
2. 夏は南東からの季節風が吹くため、火山灰が火口の北西側に運ばれやすくなる
3. 冬は北西からの季節風が吹くため、火山灰が火口の北西側に運ばれやすくなる
4. 冬は南東からの季節風が吹くため、火山灰が火口の南東側に運ばれやすくなる

問11　日本の九州地方に位置するある県では、農業産出額の構成において「米」や「野菜」と比較して「畜産」が占める割合が非常に高く、全体の約半分に達するという特色があります。肉用牛、豚、鶏の飼育が盛んなこの県はどこですか。（2018年 岩手県公立入試 類似）

1. 埼玉県
2. 宮崎県
3. 青森県
4. 新潟県

問12　九州地方南部に広がる「シラス台地」と呼ばれる火山灰の台地において、大規模な稲作よりも豚や鶏などの畜産業が盛んに行われてきた理由として、最も適切なものはどれですか。（2016年 高知県公立入試 類似）

1. シラス台地は標高が高く、夏季の気温が稲の成長に必要な水準まで上がらないため
2. 台地の土壌に塩分が多く含まれており、塩害に弱い稲の栽培が不可能であったため
3. 大規模な灌漑設備を整えるよりも、家畜の餌となるトウモロコシの栽培の方が容易であったため
4. 火山灰が堆積した地層は水はけが良すぎて、稲作に必要な水を保持することが困難であったため

答え合わせ・解説

問1	答え 2 台風の通り道にあたるため、激しい強風によって家屋や屋根瓦が飛ばされるのを防ぐため	南西諸島は地理的に「台風の道」とも呼ばれる進路上に位置しており、毎年のように強い暴風雨に見舞われます。そのため、民家の周囲に防風壁としての石垣を築いたり、重い漆喰で屋根瓦を固定したりすることで、強風による被害を最小限に抑える建築様式が発達しました。選択肢にある積雪や火山灰への対策は、他の地域（豪雪地帯や火山周辺）で見られる工夫です。
問2	答え 3 明治時代からの工業技術の集積を活かし、廃棄物を資源として再利用するエコタウン事業やリサイクル産業が盛んに行われている。	北九州工業地帯は、1901年に官営八幡製鉄所が操業を開始したことで、石炭や鉄鉱石の入手しやすさを背景に発展しました。かつては深刻な公害問題を経験しましたが、その克服過程で培った環境技術や、長年の工業集積で得たノウハウを再利用し、現在は「エコタウン」として、家電や自動車などのリサイクル産業が活発に行われているのが大きな特徴です。
問3	答え 1 冬でも雪が少なく温暖な気候を活かし、土地を休ませることなく効率的に活用するため。	二毛作が行われる大きな理由は、限られた耕地からより多くの収益を得るための土地の高度利用にあります。九州北部の筑紫平野は、冬でも比較的温暖で積雪が少ないため、水稲の収穫後に麦を育てる「裏作」が可能となります。クリーク（人工の水路）が発達し、水管理の技術が向上したことも、このような集約的な農業を支える要因となっています。
問4	答え 3 シラス台地が広がり水持ちが悪く稲作に適さない土地が多いため、広大な土地を活用した畜産が発展した。	宮崎県を含む南九州には、火山の噴出物が積み重なってできたシラス台地が広がっています。シラス台地は水はけが良すぎて稲作には不向きであったため、古くから畑作や、広大な土地を必要とする畜産業が発展しました。現在では、宮崎県は肉用牛、豚、ブロイラー（鶏）のいずれも全国有数の産出額を誇る「畜産王国」となっています。
問5	答え 1 石油危機後の不況をきっかけに、従来の沿岸部における重化学工業から、広い用地が確保しやすい内陸部や県東部を中心とした自動車工業へと主力産業が移行した。	福岡県では、官営八幡製鉄所の操業以来、北九州市の沿岸部を中心に鉄鋼業などの重化学工業が発展してきました。しかし、1970年代の石油危機による不況を境に、産業構造の転換が進みました。広大な用地や労働力を求めて、内陸部や県東部に自動車工場が進出したことで、加工組立型の工業が成長し、県全体の産業を支える新たな柱となりました。
問6	答え 4 火山灰が堆積した地層は水持ちが悪いため、稲作よりもサツマイモや茶などの畑作、および肉用牛などの畜産が発展した。	シラス台地は火山噴出物からなる地層で、水が地下に浸透しやすく、水田に必要な水を保持しにくいという課題がありました。この不利な土地条件を克服するため、水分が少なくても育つサツマイモや茶の栽培、さらに広大な台地を活かして豚、鶏、肉用牛を育てる畜産業がこの地域の主要な産業として確立されました。
問7	答え 2 耕地面積に占める畑の割合が極めて高く、広大な土地を活用した畜産が非常に盛んである。	鹿児島県は、肉用牛、豚、ブロイラーの飼育頭羽数がいずれも全国トップクラスであり、農業産出額の多くを畜産が占めています。これは、シラス台地の特性上、水田よりも畑（畑の割合は約68%）としての利用が優先された歴史的背景と深く関わっています。選択肢にある生乳（酪農）は北海道、米の単作地帯は東北地方などの特徴です。
問8	答え 1 沖縄県	南西諸島に位置する沖縄県では、高温多湿で台風が多いという厳しい気候条件に対応した住居の工夫が受け継がれてきました。石垣には地元のサンゴ礁からなる石灰岩が使われることが多く、周囲に植えられるフクギは防風・防潮の効果が高い樹木として知られています。これらは、積雪対策を重視する北海道や、合掌造りが見られる岐阜県の白川郷などとは対照的な、地域特有の景観を形成しています。
問9	答え 2 地獄蒸し	大分県の別府温泉などでは、火山活動による高温の蒸気が各所で噴出しています。この自然エネルギーを生活に活用した知恵が「地獄蒸し」であり、温泉の熱を利用して野菜や魚介類を蒸し上げる独特の食文化は、この地域を象徴する観光資源にもなっています。
問10	答え 2 夏は南東からの季節風が吹くため、火山灰が火口の北西側に運ばれやすくなる	季節風（モンスーン）は、夏は海洋から大陸に向かって（南東から北西へ）、冬は大陸から海洋に向かって（北西から南東へ）吹くという性質があります。この風向きの影響で、火口から放出された火山灰は、夏には北西に位置する市街地へ運ばれ、冬には南東方向の海側へと流されることになります。この気候特性は、その地域の生活や防災対策に大きな影響を与えています。
問11	答え 2 宮崎県	九州地方南部に位置する宮崎県は、シラス台地などの火山灰層が広がる地形的制約もあり、古くから広大な土地を活かした畜産業が発展してきました。全国でも有数の農業産出額を誇り、特に肉用牛や豚、ブロイラー（鶏）の生産で全国トップクラスのシェアを占めています。他の選択肢について、新潟県は米、青森県は果実（りんご）、埼玉県は近郊農業による野菜の産出額割合が高いのが特徴です。
問12	答え 4 火山灰が堆積した地層は水はけが良すぎて、稲作に必要な水を保持することが困難であったため	九州南部に広がるシラス台地は、過去の火山活動によって噴出した火砕流堆積物からなる台地です。この土壌は水分を保持しにくい「水はけが良い」という性質を持っており、水田に水を溜めることが難しいため、古くから稲作には不向きとされてきました。その結果、水が少なくても育つサツマイモなどの畑作や、広大な土地を利用した豚・鶏などの畜産業が発展しました。

九州地方

名前

問1　九州地方南部に位置するある都市は、2011年の九州新幹線の全線開業によって、大阪などの大都市圏からの移動時間が大幅に短縮されました。この交通網の整備により、観光やビジネス面で大きな変化が生じた都市はどこですか。（2022年 広島県公立入試 類似）

1. 鹿児島市
2. 宮崎市
3. 熊本市
4. 福岡市

問2　日本におけるブリ類の「海面漁獲量（天然もの）」と「海面養殖業（養殖もの）」の統計的な特徴を比較した説明として、正しいものを選びなさい。（2024年 大阪府公立入試 類似）

1. 海面漁獲量の上位5道県はすべて日本海側に位置しており、対馬海流を利用した漁行が盛んなため、養殖業よりも安定した生産量を維持している。
2. 海面養殖業の上位5県には愛媛県や高知県といった四国地方の県も含まれるが、九州地方の3県の合計収穫量には及ばない。
3. 海面養殖業の収穫量は全国で約13万7千トンにのぼり、約10万トンの海面漁獲量を上回っている。養殖の拠点は、鹿児島県や大分県などの九州地方に集中している。
4. 海面漁獲量では長崎県が全国1位であるが、海面養殖業では鹿児島県が1位となっており、九州地方内でも漁法によって主要な県が分かれている。

問3　ある県の農業データとして、年平均降水量が2007.0mm、農業産出額が3512億円であり、そのうち果実の産出額が362億円、野菜の産出額が1248億円と、野菜の占める割合が非常に高くなっています。この県として該当するものを選びなさい。（2026年 徳島県公立入試 類似）

1. 熊本県
2. 高知県
3. 愛媛県
4. 長野県

問4　福岡県の工業出荷額の内訳を、1970年と2010年で比較した際に読み取れる特徴として、正しい記述はどれですか。工業の種類は「鉄鋼・石油などの基礎素材」「自動車・テレビなどの加工組立」「衣食住関連」の3つに分類するものとします。（2019年 神奈川県公立入試 類似）

1. 1970年から2010年にかけて、出荷額の合計が減少したため、すべての項目において出荷額の実数が減少した。
2. 1970年時点では基礎素材製品の割合が大きかったが、2010年には自動車などの加工組立製品の重要性が相対的に高まった。
3. 1970年には加工組立製品が中心であったが、2010年には資源価格の高騰により基礎素材製品の割合が逆転して上昇した。
4. 2010年時点でも依然として基礎素材製品の出荷額が全体の8割以上を占めており、1970年からの構造変化は見られない。

問5　那覇市の気候統計における気温と降水量の特徴について、札幌市、松本市、高松市、福岡市と比較した記述として正しいものを選択してください。（2024年 栃木県公立入試 類似）

1. 梅雨や台風の影響により年間降水量は多い傾向にあるが、海洋の影響を受けるため、気温の年較差は内陸の松本市より小さい。
2. 南西諸島に位置するため、１月の平均気温が札幌市や福岡市を下回る月があり、冬の乾燥が非常に激しい。
3. １月と７月の月平均気温の差が松本市よりも大きいことが、亜熱帯に近い那覇市の気候の大きな特徴である。
4. 日本の最南端に位置するため、年平均気温は福岡市よりも高いが、年間の総降水量は瀬戸内の高松市よりも少ない。

問6　九州地方にある、温泉地として全国的に有名な観光都市の産業構造や社会状況について説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2019年 佐賀県公立入試 類似）

1. 旅館や飲食店などの観光関連のサービス業に従事する人が多いため、第3次産業の就業人口割合が極めて高いが、少子高齢化や人口減少という課題も抱えている。
2. 県庁所在地として行政機能や情報通信業が集中しているため、第3次産業の割合は高いが、都市開発により子育て世代の人口が増加している。
3. 広大な土地を活かした大規模な農業や畜産業が盛んであるため、第1次産業の就業者割合が他の都市に比べて高く、若者の流入が続いている。
4. 臨海部に鉄鋼業や自動車産業などの大規模な工場が集積しているため、第2次産業の就業者割合が最も高く、生産年齢人口の割合も非常に高い。

問7　九州地方の中央部に位置する熊本県には、阿蘇くじゅう国立公園に指定されている地域があります。この地域にある阿蘇山に見られる、火山の噴火によって形成された世界最大級の大きなくぼ地を何と呼びますか。（2025年 東京都公立入試 類似）

1. 盆地
2. 三角州
3. シラス台地
4. カルデラ

問8　鹿児島県などの地形図に見られる、標高の低い谷状の土地の利用について述べた文として、正しいものを次の中から選びなさい。（2020年 群馬県公立入試 類似）

1. 周辺に比べて水が得やすいため、水田として利用されることが多い。
2. 傾斜が急で水の確保が難しいため、主に森林として利用される。
3. 土壌の通気性を確保するため、水田ではなく果樹園として利用される。
4. 平坦で広大な面積を確保しやすいため、大規模な工業団地が造成される。

問9　2019年の空港別・訪日外国人の国・地域別割合を示した統計において、韓国からの利用者が約49.4%を占め、成田国際空港（約10.4%）や関西国際空港（約18.0%）と比較してその割合が極めて高い数値を示している国際空港はどこか、名称を答えなさい。（2022年 徳島県公立入試 類似）

1. 中部国際空港
2. 福岡空港
3. 那覇空港
4. 新千歳空港

問10　地方ごとの自然災害の発生状況を調べると、九州地方では土砂災害の発生件数が極めて多い傾向が見られる。この背景にある、九州地方南部に広がるシラスなどの火山性地層の性質として適切なものはどれか。（2023年 青森県公立入試 類似）

1. 保水力が高く、固まりやすい
2. 水を通しにくく、粘土質である
3. 水がしみこみやすく、もろい
4. 地盤が強固で、浸食されにくい

問11　2022年の東京都中央卸売市場における菊の出荷状況において、3月の総出荷量は約3000万本で、そのうち沖縄県産は約1200万本と4割近くを占めています。一方、9月の総出荷量は同程度ですが、沖縄県産はわずか3万本にとどまっています。このように、沖縄県が冬から春にかけての出荷に特化している理由として、経済的な背景をふまえて説明したものを選びなさい。（2024年 広島県公立入試 類似）

1. 冬場は航空運賃が安くなるため、その時期に合わせて集中的に出荷を行うことで、生産費と輸送費の合計を最小限に抑えている。
2. 本州の農家に比べて土地代が圧倒的に安いため、大規模な農地で生産を行うことで、輸送費の差を考慮しても十分な利益が出る仕組みになっている。
3. 冬の温暖な気候を利用して暖房費などの生産費を抑えることで、遠方の消費地へ運ぶための高い輸送費を補い収益を上げている。
4. 夏の台風被害を避けるために冬の栽培に特化しており、余った労働力を夏場はサトウキビ収穫に集中させることで生産費を下げている。

問12　九州地方の阿蘇山などに代表される、火山の大規模な噴火によって形成された、大きなくぼ地状の地形を何といいますか。（2022年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 三角州
2. カルデラ
3. シラス台地
4. 扇状地

答え合わせ・解説

問1	答え 1 鹿児島市	2011年に九州新幹線の博多から鹿児島中央までの区間が全線開業したことで、山陽新幹線との直通運転が始まりました。これにより、本州の大都市圏から九州南部へのアクセスが飛躍的に向上し、物理的な距離は変わらなくても移動にかかる時間が短くなる「時間距離」の短縮が実現しました。
問2	答え 3 海面養殖業の収穫量は全国で約13万7千トンにのぼり、約10万トンの海面漁獲量を上回っている。養殖の拠点は、鹿児島県や大分県などの九州地方に集中している。	日本のブリ類生産は、海面漁獲量よりも海面養殖業による収穫量の方が多いという構造になっています。養殖は鹿児島県（1位）、愛媛県（2位）、大分県（3位）、宮崎県（4位）、高知県（5位）と西日本の暖かな海域で盛んですが、特に鹿児島、大分、宮崎の九州3県によるシェアが非常に高いのが特徴です。一方、海面漁獲量では北海道が1位であり、長崎、島根、岩手、千葉と各地に分散しています。
問3	答え 1 熊本県	提示されたデータは、豊かな降水量と高い農業産出額を誇り、特に野菜の生産額が大きい熊本県の特徴を示しています。愛媛県や長野県は果実の割合がより高く、高知県は野菜の栽培が有名ですが産出額の全体規模が異なります。
問4	答え 2 1970年時点では基礎素材製品の割合が大きかったが、2010年には自動車などの加工組立製品の重要性が相対的に高まった。	福岡県を含む九州地方は、かつての重厚長大産業（鉄鋼など）から、1970年代以降の「シリコンアイランド」としてのIC（集積回路）生産や、その後の自動車工場の相次ぐ進出により「カーアイランド」と呼ばれるまでになりました。この流れを受けて、福岡県の工業構造も、1970年当時の基礎素材中心の構成から、2010年には加工組立型工業の割合が拡大する形へと変化を遂げています。
問5	答え 1 梅雨や台風の影響により年間降水量は多い傾向にあるが、海洋の影響を受けるため、気温の年較差は内陸の松本市より小さい。	那覇市は黒潮（暖流）の影響を受けるため、冬でも温暖で、１年を通した気温の変化が緩やかです。そのため、内陸部特有の気候を持ち気温差が激しい松本市と比較すると、１月と７月の気温差は小さくなります。降水量については、台風の進路にあたることや梅雨の影響で、全国的に見ても多い部類に入ります。福岡市よりも平均気温が低い、あるいは高松市よりも年降水量が少ないといった記述は、実際の統計上の傾向とは異なります。
問6	答え 1 旅館や飲食店などの観光関連のサービス業に従事する人が多いため、第3次産業の就業人口割合が極めて高いが、少子高齢化や人口減少という課題も抱えている。	観光都市では宿泊業や飲食業といったサービス業（第3次産業）が経済の中心となるため、その就業者割合は他産業に比べて圧倒的に高くなります。一方で、地方の観光地は若者の都市部への流出といった問題を抱えていることが多く、統計上も高齢者割合（65歳以上）が30%を超えるなど、人口減少と高齢化が顕著に表れる傾向があります。
問7	答え 4 カルデラ	阿蘇山は、大規模な噴火によって地表が陥没してできた「カルデラ」を持つことで世界的に知られています。この地形は熊本県の象徴的な景観の一つであり、カルデラの内部には草原が広がり、人々の生活圏や農地も存在しています。
問8	答え 1 周辺に比べて水が得やすいため、水田として利用されることが多い。	低地や谷状の地形は、河川からの取水や周囲からの湧水が得やすく、水利条件が良いのが特徴です。そのため、地図記号においても「水田」を示す記号が描かれることが一般的です。一方で、森林や工業団地などは、排水条件や地盤の安定性、広大な用地確保の観点から別の場所が選ばれる傾向にあります。
問9	答え 2 福岡空港	福岡空港は、九州の北部に位置し、朝鮮半島との地理的な距離が非常に近いという特性を持っています。そのため、成田や関西といった他の主要な国際空港に比べて、韓国からの観光客やビジネス客の利用が占める割合が圧倒的に高いことが統計上の大きな特徴です。このように地理的条件が訪日外国人の構成に直接影響を与えている事例として重要です。
問10	答え 3 水がしみこみやすく、もろい	九州地方南部に広がるシラス台地は、火山灰や軽石などが堆積してできた地層で覆われている。この地層は水はけが良く「水がしみこみやすい」一方で、粒の結びつきが弱く「もろい」という特徴を持つ。そのため、梅雨や台風による豪雨の際、大量の水を含んだ斜面が崩れやすくなり、土砂災害が多発する原因となっている。誤答の「保水力が高い」「粘土質」などは、一般的に水持ちが良い土壌の特徴であり、水はけの良いシラスの性質とは異なる。
問11	答え 3 冬の温暖な気候を利用して暖房費などの生産費を抑えることで、遠方の消費地へ運ぶための高い輸送費を補い収益を上げている。	沖縄県は東京などの大消費地から遠いため、出荷の際の輸送費が他県よりも高くなるという不利な点があります。しかし、冬でも温暖な気候を活かせば、ビニールハウスを温めるための燃料代（生産費）を大幅に節約できます。この「節約できた生産費」によって「高い輸送費」を相殺し、他地域との競争力を保っています。9月の出荷が少ないのは、他地域でも暖房なしで生産が可能になり、沖縄の優位性がなくなるためです。
問12	答え 2 カルデラ	火山の噴火によって地下のマグマが噴き出し、その後に地表が陥没したり、浸食を受けたりすることで、円形に近い巨大なくぼ地が形成されます。阿蘇山はこのカルデラの中に集落や田畑、鉄道が広がっている世界的にも珍しい地域です。選択肢にあるシラス台地は火山灰が堆積してできた台地であり、地形の形状や成り立ちが異なります。

九州地方

名前

問1　沖縄県は九州の南方に位置し、日本の他の地方と比較して緯度が低いという特徴があります。このような地理的条件によってもたらされる「年間を通じて温暖な気候」や「美しいサンゴ礁」といった自然環境を最大限に活用し、県の経済において最も高い割合を占めている産業はどれですか。（2026年 福岡県公立入試 類似）

1. 重化学工業や加工貿易を主体とする第二次産業
2. 先端技術の開発や情報通信に特化した第四次産業
3. 観光業やサービス業を主体とする第三次産業
4. 農業や漁業を主体とする第一次産業

問2　福岡県の北九州市に関して、かつて官営八幡製鉄所が建設され重化学工業が発展したが、現在ではその産業構造に変化が見られる。この地域の現在の特徴的な取り組みとして最も適切なものはどれか。（2017年 北海道公立入試 類似）

1. 伝統的な繊維産業を中心とした地場産業の振興
2. 周辺のリアス海岸を生かした真珠や魚介類の養殖
3. 公害克服の技術や経験を生かしたエコタウンの形成
4. 広大な平野を利用した大規模な稲作と野菜の抑制栽培

問3　温泉の源泉数が全国で最も多いことで知られる大分県の地域的特徴について、地形や産業の観点から述べた説明として最も適切なものはどれですか。（2019年 徳島県公立入試 類似）

1. 筑後川の下流に広がる平野部を利用して、米と小麦の二毛作が盛んに行われている。
2. 亜熱帯の気候を生かして、サトウキビやパイナップルなどの栽培が盛んに行われている。
3. 火山活動が活発な地域に位置しており、別府や由布院などの温泉地が観光の拠点となっている。
4. 広大な干拓地を有しており、機械化された大規模な農業によって小麦の生産が行われている。

問4　沖縄県の地域調査において、本土復帰から現代までの経済統計について考察した次の記述のうち、正しいものはどれですか。（2018年 沖縄県公立入試 類似）

1. 1972年と2014年を比較すると、県民総所得に占める基地関連収入の割合は約4分の1以下に低下しており、基地に依存しない経済への転換が進んでいる。
2. 復帰直後の沖縄県では基地関連収入が県民総所得の5.7%を占めるに過ぎなかったが、現在は基地の役割が増大し、その割合は30.4%に達している。
3. 県民総所得の総額は、1972年の約5,000億円から2014年の約4兆3,000億円へと増加しているが、基地関連収入の割合は依然として30%を超えている。
4. 基地関連収入の割合が大幅に低下したのは、県民総所得の総額が1972年時点よりも減少したためであり、沖縄経済の規模は縮小を続けている。

問5　宮崎県などで盛んな、ビニールハウスなどの施設を用いて作物の成長を早める「促成栽培」において、冬から春にかけての時期に出荷を集中させる主な理由として最も適切なものはどれですか。（2020年 静岡県公立入試 類似）

1. 春先の害虫被害を避けるために、収穫時期をあえて市場の需要が低い時期にずらすため
2. 冬の寒さを利用して作物の品質を向上させ、他の農産物との差別化を図るため
3. 他地域からの入荷量が少なく市場価格が高い時期に供給し、農家の利益を高めるため
4. 他地域からの入荷量が多く市場価格が安定している時期に供給し、販売量を増やすため

問6　九州の西側の海上から、長崎県付近を経て日本海側へと北上する海流があります。この海流の名称として正しいものはどれですか。（2022年 群馬県公立入試 類似）

1. 親潮（千島海流）
2. リマン海流
3. 黒潮（日本海流）
4. 対馬海流

問7　九州地方の南東部に位置し、ピーマンやキュウリなどの生産が盛んな宮崎県では、出荷時期を早める「促成栽培」が行われています。このような工夫を凝らした農業が行われる主な目的として、最も適切な説明はどれですか。（2023年 富山県公立入試 類似）

1. 大消費地である東京や大阪に近いため、輸送コストを抑えて新鮮なうちに届けるため
2. 他の産地の出荷が少ない時期に市場へ供給することで、高い販売価格を得るため
3. ダムや水路などのかんがい施設を効率的に利用し、一度に大量の野菜を収穫するため
4. 夏の極端な高温や乾燥による被害を避けるため、収穫を春までに終わらせるため

問8　九州地方の西側に位置する東シナ海には、大陸から続く平坦な海底が広がっています。このような、一般に水深が200mよりも浅い海底地形を何と呼びますか。（2016年 岡山県公立入試 類似）

1. 大陸棚
2. 海溝
3. 海盆
4. 砂州

問9　九州地方において、集積回路（IC）などの電子部品を製造する工場が、従来の重化学工業のような沿岸部ではなく、内陸部の空港や高速道路の周辺に多く立地している主な理由を説明したものとして、最も適切なものはどれか。（2016年 岡山県公立入試 類似）

1. 工場の排水による海洋汚染を防ぐため、法律によってすべての先端技術産業は海から離れた場所に建設するよう義務付けられているから。
2. 原材料に大量の鉄鉱石や石炭を使用するため、海外からの輸入に便利な内陸部のインターチェンジ周辺が選ばれたから。
3. 大規模な製造装置を動かすための電力を確保するために、火力発電所や原子力発電所が集中する空港付近の立地が必要だから。
4. 製品が小型で軽量かつ高付加価値であるため、運賃コストよりもスピードを重視した航空輸送やトラック輸送が適しているから。

問10　福岡県の工業出荷額に占める産業別割合を示した統計において、機械工業に次いで大きな割合を占め、北九州工業地域の沿岸部に工場が集中している産業の名称を答えなさい。（2020年 静岡県公立入試 類似）

1. 食料品工業
2. 金属工業
3. せんい工業
4. 化学工業

問11　熊本県水俣市を中心に発生した水俣病について、その被害が拡大した原因や仕組みに関する記述として、最も適切なものはどれですか。（2020年 岐阜県公立入試 類似）

1. 化学工場の排水に含まれたメチル水銀が魚介類の体内で濃縮され、それを摂取した住民に深刻な神経被害をもたらした。
2. 工場から排出された窒素酸化物が光化学スモッグを引き起こし、都市部の住民に目の痛みや頭痛をもたらした。
3. 鉱山から川へ流れ出したカドミウムが農作物を汚染し、それを長期間食べた住民の骨がもろくなる被害をもたらした。
4. 石油コンビナートの煙突から排出された硫黄酸化物が大気を汚染し、周辺住民に激しいせきやぜんそくの症状をもたらした。

問12　沖縄県における河川の状況と水資源に関する記述として、統計的な事実や地理的特徴に基づいた正しいものを選びなさい。（2020年 静岡県公立入試 類似）

1. 大規模な平野部を流れる長大な河川が多く、古くから水田稲作が盛んに行われてきた。
2. 河川が非常に緩やかに流れているため、海への流出に時間がかかり蒸発による損失が激しい。
3. 降水量が極めて少ない地域であるため、河川の流量が年間を通じて一定ではない。
4. 全国平均と比べて河川の長さが極めて短く、雨水を安定して蓄えることが難しい地形である。

答え合わせ・解説

問1	答え 3 観光業やサービス業を主体とする第三次産業	沖縄県は低緯度に位置するため、冬でも気温が下がりにくく、一年を通して温暖な気候に恵まれています。この気候やサンゴ礁が広がる海などの豊かな自然資源は、観光客を引きつける大きな魅力となっています。その結果、宿泊業や飲食業、小売業などのサービス業を含む第三次産業が、県内の就業者数や生産額において極めて高い比率を占める産業構造となっています。
問2	答え 3 公害克服の技術や経験を生かしたエコタウンの形成	北九州市はかつて激甚な公害に見舞われたが、市民・企業・行政の協力によりこれを克服した歴史を持つ。現在ではその技術やノウハウを生かし、廃棄物リサイクル施設などを集積させたエコタウン事業を展開し、環境産業都市としての発展を目指している。
問3	答え 3 火山活動が活発な地域に位置しており、別府や由布院などの温泉地が観光の拠点となっている。	大分県は、九州を横断する火山帯の影響を受けており、地熱資源が非常に豊富です。源泉数が4,000箇所を超えるという特徴は、活発な火山活動という自然環境を背景にしたものであり、これを活用した別府温泉や由布院温泉は、国内外から多くの観光客を集める九州を代表する観光地となっています。
問4	答え 1 1972年と2014年を比較すると、県民総所得に占める基地関連収入の割合は約4分の1以下に低下しており、基地に依存しない経済への転換が進んでいる。	本土復帰直後の沖縄県では、県民総所得の約3割（30.4%）を基地関連収入が占めており、基地が経済に与える影響が極めて大きい状態でした。しかし、その後の経済発展によって県民総所得の総額が約8倍以上に増加した結果、基地関連収入が占める割合は5.7%まで低下しました。このことは、沖縄経済の構造が基地依存から観光やサービス業を中心とした自立的な方向へ変化してきたことを示しています。
問5	答え 3 他地域からの入荷量が少なく市場価格が高い時期に供給し、農家の利益を高めるため	宮崎県のような温暖な地域では、その気候条件を活かして他の地域が生産できない冬から春にかけて作物を栽培します。市場全体の入荷量が少ない時期に出荷することで、需要と供給のバランスにより価格が高騰するため、通常よりも高い収益を得ることが可能になります。このように出荷時期を調整して経済的利点を得ることが、促成栽培の大きな目的です。
問6	答え 4 対馬海流	この海流は、黒潮（日本海流）から分かれて日本海へと流れ込む暖流です。九州の西側を通り、南西から北東方向へ向かって北上することで、日本海側の地域の気候や漁業に大きな影響を与えています。
問7	答え 2 他の産地の出荷が少ない時期に市場へ供給することで、高い販売価格を得るため	多くの産地から野菜が出回る時期は市場価格が下がりますが、促成栽培によって品薄な時期に出荷できれば、有利な価格で取引されます。これは地域の農業をブランド化し、農家の収益を安定させるための重要な戦略となっています。
問8	答え 1 大陸棚	日本列島の周辺、特に九州の西側に広がる東シナ海には、水深200m程度までの比較的浅くて平らな海底地形が続いています。これを大陸棚と呼び、日光が届きやすくプランクトンが豊富であるため、好漁場となります。一方で、水深6000mを超えるような非常に深い溝状の地形は海溝と呼ばれます。
問9	答え 4 製品が小型で軽量かつ高付加価値であるため、運賃コストよりもスピードを重視した航空輸送やトラック輸送が適しているから。	集積回路（IC）は、鉄鋼や石油化学などの製品と比べて非常に小型で軽く、製品あたりの価格が高い「高付加価値製品」です。そのため、船舶による大量輸送よりも、高速道路を利用した自動車輸送や、空港を利用した航空輸送によって、市場の需要に合わせて迅速に出荷することが重視されます。このように交通の利便性を求めて内陸部に工場が並ぶ様子から、九州はアメリカの事例になぞらえて「シリコンアイランド」と呼ばれます。
問10	答え 4 化学工業	北九州工業地域は、鉄鋼業（金属工業）から発展した歴史がありますが、現在は機械工業や化学工業が工業出荷額の中で重要な役割を担っています。特に化学工業は、広大な敷地と港湾施設を必要とするため、地図上の工場分布を確認すると、内陸部よりも沿岸部に記号が集中していることがわかります。これは原料の輸入と製品の輸出を効率化するための典型的な臨海型工業の特徴です。
問11	答え 1 化学工場の排水に含まれたメチル水銀が魚介類の体内で濃縮され、それを摂取した住民に深刻な神経被害をもたらした。	水俣病は、化学工場（チッソ）から八代海（不知火海）へ排出されたメチル水銀（有機水銀）が原因です。この物質が食物連鎖を通じて魚介類の体内に蓄積し、その魚介類を日常的に食べた人間の中枢神経に障害を与えました。カドミウムが原因なのはイタイイタイ病、硫黄酸化物が原因なのは四日市ぜんそくの説明です。
問12	答え 4 全国平均と比べて河川の長さが極めて短く、雨水を安定して蓄えることが難しい地形である。	沖縄県の河川の長さの平均を全国平均と比較すると、極端に短いことがわかります。これは島嶼部特有の急峻な地形によるもので、降った雨を地表に留めておく力が弱いことを意味します。そのため、沖縄県では水不足への対策として、地下ダムの建設や海水の淡水化といった独自の取り組みが行われてきました。よくある誤答として「降水量が少ない」というものがありますが、実際には沖縄は多雨地域であるため注意が必要です。

九州地方

名前

問1　1901年に操業を開始した官営八幡製鉄所は、日清戦争の賠償金をもとに建設されました。この製鉄所が置かれ、のちに鉄鋼業を中心とした北九州工業地帯として発展した都道府県はどこですか。（2022年 滋賀県公立入試 類似）

1. 岡山県
2. 福岡県
3. 広島県
4. 兵庫県

問2　沖縄県などが含まれる南西諸島の伝統的な家屋には、敷地の周囲に石垣をめぐらせたり、屋根瓦の継ぎ目を白い漆喰（しっくい）で固めたりする工夫が見られます。このような工夫がなされている理由として、地域の自然環境をふまえて説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2020年 和歌山県公立入試 類似）

1. 冬に吹きつける冷たい北西の季節風による室温の低下を防ぐため
2. 夏の日差しが非常に強いため、石垣によって日陰を作り、室内の温度上昇を抑えるため
3. 台風の通り道にあたるため、激しい強風によって家屋や屋根瓦が飛ばされるのを防ぐため
4. 火山活動が活発な地域であり、降灰による屋根の崩落や生活への影響を防ぐため

問3　九州地方の5県（佐賀、熊本、大分、宮崎、鹿児島）における2014年の耕地面積の統計によると、佐賀県や熊本県では田の面積が畑の面積を上回っていますが、鹿児島県では全耕地面積に占める畑地の割合が突出して高くなっています。鹿児島県においてこのように畑作が盛んである主な理由として、土地の性質について説明したものを選びなさい。（2016年 岡山県公立入試 類似）

1. 筑紫平野のような平坦な低地が広がっており、排水作業を行って広大な畑地を確保しやすかったため。
2. 有明海沿岸の干拓によって得られた土地が、塩分の影響で稲作よりも畑作に適していたため。
3. 火山噴出物が堆積したシラス台地が広く分布しており、水持ちが悪く稲作に不向きであったため。
4. 山間部を切り開いた棚田が多く作られたが、近年の機械化に伴いその多くが果樹園へと転換されたため。

問4　北九州市の産業と人口の推移について述べた次の文のうち、1980年代以降の統計的な傾向を正しく説明しているものはどれですか。（2015年 兵庫県公立入試 類似）

1. 製造品出荷額に占める鉄鋼業の割合が大幅に減少し、人口も減少傾向にある
2. 人口は1980年以降も一貫して増加し続け、鉄鋼業の出荷額も伸び続けている
3. 製造品出荷額において機械工業が消滅したため、急激な人口増加が起きた
4. 再開発によって鉄鋼業が復活し、製造品出荷額が1980年以前の水準を超えた

問5　九州地方の各県の産業について述べた次の説明のうち、宮崎県と福岡県の特徴を正しく組み合わせたものはどれですか。（2023年 三重県公立入試 類似）

1. 宮崎県と福岡県はともに農業産出額のうち米の割合が最も高く、工業については佐賀県の出荷額が九州で最大である。
2. 宮崎県は農業産出額において畜産の占める割合が非常に高く、福岡県は九州地方で最大の工業出荷額を誇っている。
3. 宮崎県は平野部を中心に稲作が盛んで米の産出額が九州で最も多く、福岡県は畜産が県内の農業の大部分を占めている。
4. 宮崎県は工業出荷額が九州地方の中で最大規模であり、福岡県は農業産出額において米の産出額が畜産を上回っている。

問6　九州地方の中央部に位置する熊本県には、阿蘇くじゅう国立公園に指定されている地域があります。この地域にある阿蘇山に見られる、火山の噴火によって形成された世界最大級の大きなくぼ地を何と呼びますか。（2025年 東京都公立入試 類似）

1. シラス台地
2. 三角州
3. カルデラ
4. 盆地

問7　九州地方の自然環境とそれを利用した産業について述べた文として、正しいものを次の中から選びなさい。（2018年 千葉県公立入試 類似）

1. 明治時代に官営の八幡製鉄所が福岡市に建設されたことで、周辺の火山から産出される鉄鉱石を利用した重化学工業が発展した。
2. 九州南部に広がるシラス台地は、火山灰が降り積もってできた水持ちの良い地質であるため、古くから大規模な稲作地帯となっている。
3. 阿蘇山やくじゅう連山などの活火山が多い地理的条件を活かし、大分県などを中心に地熱エネルギーを利用した発電が盛んに行われている。
4. かつて石炭産業で栄えた筑豊地域では、エネルギー革命による需要の変化に伴い、火山の地熱を熱源とした繊維工業や食料品工業への転換が進んだ。

問8　九州地方において肉用牛の産出額が非常に高い背景には、南九州を中心に広がる地形的要因があります。火山噴出物が積み重なってできたこの台地は、水持ちが悪く稲作に不向きであったため、古くから畜産業や畑作が発展してきました。この台地の名称として適切なものはどれですか。（2021年 神奈川県公立入試 類似）

1. 根釧台地
2. シラス台地
3. 武蔵野台地
4. 牧之原台地

問9　関東地方の卸売市場におけるきゅうりの出荷状況をみると、福島県産などは夏場に供給のピークを迎えるのに対し、宮崎県産は11月から翌年5月にかけての供給量が多くなっています。宮崎県がこのような出荷時期の調整を行う主な理由として、最も適切な説明はどれですか。（2022年 宮城県公立入試 類似）

1. 消費地である関東地方までの輸送コストを、冬場の方が安く抑えられるため
2. 夏場に発生しやすい台風の被害を避けるために、栽培時期を冬に限定しているため
3. 冬の乾燥した気候を利用することで、農薬の使用量を抑えた栽培が可能になるため
4. 他の産地の出荷が少ない時期に販売することで、高い価格での取引を狙うため

問10　鹿児島県に広く分布するシラス台地において、その自然条件を背景に発展したこの地域の農業の特色として最も適切なものはどれですか。（2015年 兵庫県公立入試 類似）

1. 一年を通じて温暖な気候を利用し、平坦な地形を活かして、冬でも雪が降らないことを前提とした稲の二期作が行われている。
2. 土地が低く水がたまりやすいため、大規模な排水設備を整えることで、日本有数の米どころとして水田単作地帯となった。
3. 地盤が非常に強固で肥沃な土壌であるため、重機を用いた大規模な小麦栽培と、大都市向けの近郊農業が中心となっている。
4. 火山灰が堆積した地層は水持ちが悪いため、稲作よりもサツマイモや茶などの畑作、および肉用牛などの畜産が発展した。

問11　九州地方の産業統計において、金属製品の出荷額が5,000億円を超え、さらに観光やビジネスに伴う宿泊旅行者数が年間350万人を上回るなど、製造業とサービス業の両面で中心的な役割を果たしている県はどこですか。（2021年 佐賀県公立入試 類似）

1. 宮崎県
2. 鹿児島県
3. 福岡県
4. 佐賀県

問12　宮崎市などの九州地方太平洋側において、夏から秋にかけての降水量が福岡市などの日本海側と比べて著しく多くなる背景として、適切な理由の組み合わせはどれですか。（2023年 福島県公立入試 類似）

1. 対馬海流の影響、南西から吹く乾燥した季節風、およびシベリア高気圧の発達
2. リマン海流の影響、日本海側から山を越えて吹き下ろす乾いた風、および移動性高気圧の通過
3. 寒流である親潮の影響、北西からの冷たい季節風、および梅雨前線の長期停滞
4. 暖流である黒潮の影響、南東からの湿った季節風、および台風の通り道にあたること

答え合わせ・解説

問1	答え 2 福岡県	日清戦争で得た賠償金をもとに、筑豊炭田の石炭と中国大陸から輸入する鉄鉱石の利用に便利な福岡県北部に官営八幡製鉄所が建設されました。これが日本の重工業化をけん引し、北九州工業地帯へと発展しました。
問2	答え 3 台風の通り道にあたるため、激しい強風によって家屋や屋根瓦が飛ばされるのを防ぐため	南西諸島は地理的に「台風の道」とも呼ばれる進路上に位置しており、毎年のように強い暴風雨に見舞われます。そのため、民家の周囲に防風壁としての石垣を築いたり、重い漆喰で屋根瓦を固定したりすることで、強風による被害を最小限に抑える建築様式が発達しました。選択肢にある積雪や火山灰への対策は、他の地域（豪雪地帯や火山周辺）で見られる工夫です。
問3	答え 3 火山噴出物が堆積したシラス台地が広く分布しており、水持ちが悪く稲作に不向きであったため。	鹿児島県から宮崎県にかけての九州南部には、過去の火山活動による噴出物が厚く堆積した「シラス台地」が広がっています。この土地は水はけが良すぎて水持ちが悪いため、大規模な水田を作ることが困難でした。そのため、古くから稲作ではなくサツマイモや茶などの畑作、あるいは広大な土地を利用した畜産が発展してきました。これに対し、佐賀県などの平野部では水田率が高い傾向にあります。
問4	答え 1 製造品出荷額に占める鉄鋼業の割合が大幅に減少し、人口も減少傾向にある	北九州市の統計を見ると、1980年をピークに人口は減少に転じています。産業面では、かつて圧倒的なシェアを誇った鉄鋼業の製造品出荷額が大幅に減少する一方で、自動車産業などの機械工業が一定の割合を占めるようになり、産業の主役が交代している様子がうかがえます。これは日本の多くの地方都市が直面している、産業構造の転換と人口減少という共通の課題を反映しています。
問5	答え 2 宮崎県は農業産出額において畜産の占める割合が非常に高く、福岡県は九州地方で最大の工業出荷額を誇っている。	九州地方南部では、シラス台地などの地形的条件を活かした畑作や畜産が発展しており、特に宮崎県は肉用牛、豚、鶏などの畜産業が農業産出額の多くを占めているのが特徴です。一方、九州地方北部の福岡県は、北九州工業地帯やその周辺の自動車産業などの集積により、九州で最も大きな工業出荷額を記録しています。佐賀県は九州の中では比較的、農業産出額に占める米の割合が高いという特徴がありますが、工業出荷額が最大なのは福岡県です。
問6	答え 3 カルデラ	阿蘇山は、大規模な噴火によって地表が陥没してできた「カルデラ」を持つことで世界的に知られています。この地形は熊本県の象徴的な景観の一つであり、カルデラの内部には草原が広がり、人々の生活圏や農地も存在しています。
問7	答え 3 阿蘇山やくじゅう連山などの活火山が多い地理的条件を活かし、大分県などを中心に地熱エネルギーを利用した発電が盛んに行われている。	九州地方は阿蘇山や桜島などの活火山が多く、火山活動による熱エネルギーが豊富なため、大分県の八丁原発電所に代表される地熱発電が盛んです。選択肢にあるシラス台地は水持ちが悪いため稲作には適さず、サツマイモなどの畑作や畜産が行われています。また、官営八幡製鉄所が建設されたのは福岡市ではなく現在の北九州市であり、筑豊炭田の石炭を利用していました。筑豊地域におけるエネルギー革命後の産業転換は、主に自動車産業の誘致などであり、地熱を利用した工業転換という記述は誤りです。
問8	答え 2 シラス台地	鹿児島県から宮崎県にかけて広がるシラス台地は、火山の噴出物（火山灰など）で構成されています。水はけが良すぎて水田に適さなかったため、肉用牛や豚、鶏などの畜産や、サツマイモなどの畑作が盛んになりました。ちなみに根釧台地は北海道の酪農地帯、牧之原台地は静岡県の茶の産地です。
問9	答え 4 他の産地の出荷が少ない時期に販売することで、高い価格での取引を狙うため	農産物は市場に出回る量（供給量）が少ない時期ほど、価格が高くなる傾向があります。宮崎県では、冬でも暖かい気候や施設園芸の技術を活用し、多くの地域が栽培できない冬から春にきゅうりを出荷することで、競争を避け、農家の収益を高める工夫をしています。これを促成栽培と呼び、地理的な利点と市場経済の仕組みを組み合わせた農業経営の一環です。
問10	答え 4 火山灰が堆積した地層は水持ちが悪いため、稲作よりもサツマイモや茶などの畑作、および肉用牛などの畜産が発展した。	シラス台地は火山噴出物からなる地層で、水が地下に浸透しやすく、水田に必要な水を保持しにくいという課題がありました。この不利な土地条件を克服するため、水分が少なくても育つサツマイモや茶の栽培、さらに広大な台地を活かして豚、鶏、肉用牛を育てる畜産業がこの地域の主要な産業として確立されました。
問11	答え 3 福岡県	九州地方北部に位置するこの県は、北九州工業地帯を擁しており、古くから金属工業や機械工業が発展してきました。また、九州最大の都市である福岡市を中心に、商業やサービス業、交通網が高度に発達しているため、ビジネスや観光目的の宿泊旅行者数が他県に比べて圧倒的に多いという特徴があります。
問12	答え 4 暖流である黒潮の影響、南東からの湿った季節風、および台風の通り道にあたること	九州南部の太平洋側で降水量が多くなる要因は、大きく分けて3つあります。1つ目は、付近を流れる暖流の黒潮が水蒸気を供給すること。2つ目は、夏に太平洋高気圧から吹き込む湿った南東の季節風が、九州山地などにぶつかって上昇気流を発生させること。3つ目は、夏から秋にかけて台風が接近・上陸しやすく、短期間に記録的な豪雨をもたらすことです。これらが重なるため、福岡市などの北部よりも降水量が非常に多くなります。